

とつかり未来 会議

とつかり
リビングラボ
フォーラム
2022

参加お申し込みは
参加費無料
裏面をご覧ください

防災について 平時からの連携を みんなで考える シンポジウム

未来へつなぐ戸塚アクションプラン
コロナ時代を生きる

一人ひとりの意識の変化がとつかりの未来を大きく変える

日時

2022

11月19日

土

PM 13:00～(予定)

開場 12:30～ 閉会 17:00

会場 / 戸塚区総合庁舎3階多目的スペース

所在地 / 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16番地17 TEL:045-866-2500

JR・横浜市営
地下鉄「戸塚」駅
より徒歩約1分

地域にある『頼れる存在』を知っていますか…

とつかりリビングラボとは

横浜市戸塚区の地域の課題を抽出し、解決やより良いまちづくりにむけた連携体制の構築・提言・イベント運営などの活動(事業)に取り組んでいます。

また、暮らしを豊かにするため、地域の医療・介護・子育て・障がいの地域課題も多面的・共生的な視点でとらえ、住民や企業・NPO 法人・社会福祉法人・自治体・大学・医療機関・行政など様々な主体が協働し、地域価値を生み出すことを目的としています。

〈協賛企業・団体〉 石川歯科医院 / 原宿わたなべ歯科診療所 / 医療法人横浜未来ヘルスケアシステム / 横浜薬科大学 / 株式会社横浜セイビ / 株式会社ツクイ / 中外製薬株式会社 / 認定特定非営利活動法人こまちづらす / 社会福祉法人敬愛 けいあいの郷影取 / 社会福祉法人和みの会 和みの園 / シニアウйл株式会社 / あい薬局 / 居宅介護支援事業部 / 株式会社ウェルモ / オセアンケアワーク株式会社 / 一般社団法人戸塚区医師会 (順不同)

〈協力〉 YOKOHAMAリビングラボサポートオフィス / LOCALGOODYOKOHAMA (NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ)

〈後援〉 横浜市政策局 / 戸塚区役所 / 戸塚区医師会 / 戸塚区歯科医師会 / 戸塚区薬剤師会 / 戸塚区社会福祉協議会

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

お問い合わせは下記まで

主催 とつかりリビングラボ

TEL.045-851-1311

とつかりリビングラボ事務局 担当: 飯田 〒245-0065 横浜市戸塚区東俣野町1705(特別養護老人ホーム和みの園内)

～新型コロナウイルス感染防止対策のご理解とお願い～

※本年度もハイブリッド開催いたします。会場参加人数には制限を設けております。よって、事前申し込みのない方の会場参加はできません。

※会場参加は先着順となりますので、人数を超えた場合にはオンラインでのご参加をお願い致します。

オンライン参加の方は
当日は通信環境の
良い場所でご視聴ください

お申し込みはこちらから

二次元コードや下記アドレスからもお申し込みいただけます

<https://onl.tw/vL9h9g1>

- お申し込みフォームにご入力いただき送信してください。
お申し込み確認後、参加方法をメールアドレスにてお知らせします。
- DIG開催は会場のみとさせていただきます。オンラインでご参加の方は視聴のみとなりますので予めご了承ください。



災害想像力ゲーム DIG (ディグ) とは

DIGとは、Disaster (災害)、Imagination (想像力)、Game (ゲーム) の頭文字をとって名付けられたもので、常葉大学の小村隆史准教授が発案されました。身近な文房具を使い、地図や見取り図に参加者自身が書き込みをすることで、自分の地域や住まい・職場に潜む災害の危険性を「見える化」し、防災・減災対策を参加者全員で考える頭の防災訓練です。でき上がった地図は、「このまま何もしないでいたら、ある日、こうなってしまうかもしれない」という、一つの未来予測図になります。そうならないために何をすればよいのかを、みんなで話し合ってみませんか。

プログラム

- 災害想像力ゲーム「DIG(ディグ)」
- 学生による
「介護デジタルハッカソンin横浜」中間発表
(横浜薬科大学/横浜リハビリテーション専門学校/
情報科学専門学校)

介護デジタルハッカソンとは

介護デジタルハッカソンin横浜は、「介護」という日本が抱える深刻な社会問題にフォーカスし、バックグラウンドが多様な学生メンバーで編成されたチーム毎に課題設定、ソリューションのアイデア出しからプロトタイプづくりを経験してもらいます。

- ワークショップ
「災害を専門職種とともに考える」

11月19日(土)
一人ひとりの意識の変化が
とつかの未来を大きく変える

とつか未来会議

とつかりビングラボフォーラム2022